



第275号
発行●グリーンコープ生協ふくおか 理事会
編集●広報委員会
福岡市博多区博多駅前1-5-1博多大通ビルディング3F
TEL●092-482-7770 (代)
ホームページ●http://www.greencoop-fukuoka.jp

4月号

グリーン・ウェーブ GREEN WAVE

グリーンコープのうねりを地域へ

今月号の主な内容

- 水俣・福岡展2023報告…………… 2・3
 - おやつで感じる至福の時間…………… 4・5
 - 子育てサークル&家計簿クラブ…………… 6
- ※GREEN WAVEに記載している商品情報は発行日現在のものです(金額は個配価格)
次回発行日は4月22日です。

グリーンコープの 新年度に向けて

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、おまつりやグリーンクラブとの交流会をはじめ、元気に活動ができるようになりました。地域委員会でも、一緒に試食を食べて「これ美味しいね」「こっちはおすすめよ」と楽しく会話ができるようになっています。

組合員から要望が多かったグリーンコープの離乳食。福岡地域の夢として検討がはじまり、2023年の秋にお店とキープ&ショップでの取り扱いが始まりました。今後は、もつとグリーンコープらしい離乳食のカタログでの取り扱いが始まります。お楽しみに。

気候危機・地球温暖化をとめたいと検討をおこなってきた「2027カーボンニュートラル」が、2023年度の臨時総代会で可決されました。福岡西支部は完全EV車化し、小倉北、久留米支部にも導入がすすんでいます。私たち一人ひとりができるか考え、自分ができることを寄せ合いながら、みどりの地球をみどりのままで子どもたちに手渡せるように、これからもグリーンコープ運動を一緒に上げていきましょう。



グリーンコープ生協ふくおか
理事長
坂本 寛子

2024年度も地域理事会を盛り上げます!

この紙面で紹介しているのは、各地域独自の取り組みです。

福岡地域

2023年度は永く組合員から要望が出ていた離乳食を開発しようと、離乳食検討プロジェクトチームを福岡地域の「夢ヲかたち」として据え、検討を重ねました。お店やキープ&ショップにはメーカーブランド「地球畑」のものが先陣を切って既に登場しています。グリーンコープオリジナルの離乳食も間もなく登場予定です。

このように私たちの夢は、みんなで「かたち」にすることができますよ!あらためて皆さんからの提案をお待ちしています!

大坪 亜野子



福岡地域理事長 大坪 亜野子
福岡地域食べもの委員長 西本 梓

北九州地域

2024年度も楽しいことがいっぱいの北九州地域です。清水店がリニューアルし、素晴らしいお店に生まれ変わっています。お店でのイベントもたくさん開催予定です。体験田でおなじみの赤村との新しいプロジェクトがはじまります。初めてのプロジェクトなので、とてもワクワクしています。昨年大好評だった北九州地域の大きなおまつりを、秋に開催します。昨年よりもっとパワーアップしたおまつりにします!お楽しみに! 安部 百々



北九州地域理事長 安部 百々
北九州地域食べもの委員長 片山 京子

南地域

南地域は、産直青果の産地やメーカーが多々ある地の利を生かして、メーカーを訪れて約束通り製造されているかを確認する「商品の確かさを確認する活動」を積極的におこなっています。

確かめてますます好きになった商品をチラシや店頭でアピールしているので、見かけたら是非試してみてくださいね!今年は地域理事会主催で、初のおまつりを開催予定です。たくさんの人と繋がりながら楽しく活動していきます。

どうぞ、よろしくお祈いします。

永井 洋子



南地域理事長 永井 洋子
南地域食べもの委員長 小林 裕子

中部地域

2023年度はおまつりや学習会など、対面でのイベントを積極的におこない、組合員、地域の方がた、生産者、メーカーと直接会って交流することの楽しさを久しぶりに満喫できました。2024年度も中部地域にはファイバーリサイクル運動の拠点となる「オンガベース」、千鳥・福岡店が統合した「ふくつ店」がオープン予定です。これまで開設されたみんなの居場所や配食サービスセンターも、地域の方がたに大変喜ばれています。

2024年度もどうぞよろしくお祈いいたします。

中村 晶子



中部地域理事長 中村 晶子
中部地域食べもの委員長 谷 亜矢子

新委員長に就任します

2023年度、福岡地域食べもの委員長と兼任し「離乳食検討プロジェクト委員会」を立ち上げました。組合員待望の離乳食の取り扱いの実現に向けて検討を重ね、まずはお店・キープ&ショップに離乳食コーナーを設置しました。2024年度はオリジナル離乳食開発を柱にもうすぐ登場する「大地からのおくりもの BabyGreen」(仮)を全力で盛り上げていきます!

離乳食開発プロジェクト委員長 吉次 真紀



読みやすく、わかりやすく、グリーンコープの最新情報をお届けするGREEN WAVE。グリーンコープの様々な運動や、組合員活動の楽しさが伝わるよう、委員会運営や紙面作りをしていきます。

広報委員長 安達 由久子



ボランティアスタッフとして関わって

ワーカーズ・コレクティブ with 神崎 貴美

水俣展を初めて見たのは熊本で開催された「水俣病展2017」でした。グリーンコープくまもとの組合員事務局から展示説明を受け、展示鑑賞だけではわからない深い部分を知ることができました。その後、福岡で開催されることになり水俣へ訪問する機会を得て、特に展示説明のボランティアになりたいと強く思うようになりました。

4回の展示説明講習会では大変厚い資料を渡され、まだ展示物も

ない中で、どのように話したら良いのかとても戸惑いました。しかし水俣病で亡くなられた方の遺影を飾っているブースに開催日前日に入り、みなさんの苦しみ、無念、二度と引き起こしてはならないという想いが幾重にも重なりました。

来場者に水俣の真実を少しでも知っていただき、一つでも教訓にしてほしいと願って取り組んだ水俣展でした。

いのちとくらしの委員会で行きました

いのちとくらしの委員長 神保 薫

グリーンコープの食べもの運動の原点の一つである熊本水俣病事件を知るため、いのちとくらしの委員会で水俣・福岡展2023へ行きました。

小学校で勉強した「昔の話」「歴史上の出来事」が現在も裁判は続いていて、人びとの肉体的・精神的苦しみは今なお続いていることに驚き、胸を痛めました。人の命よりも経済発展を優先し、生命や食をないがしろにしたことを、忘れてはならないし繰り返してはいけません。委員の心に「水俣病は終わっていない」という言葉が突き刺さり、それぞれが社会のあり方について考えることができました。

委員感想



話で聞くのと実際自分の目で展示を見るのは全く違うと思いました。(宗像支部)



水俣病の現状を組合員の皆さんに伝え、今後も関心を持って見守りたいと思いました。(福岡西支部)



他人事だったところもあったのですが、もっと知りたかったです。(福岡なか支部)



これほど長い年月を闘ってこられ、未だ解決していないことに驚きしかありませんでした。(筑紫支部)



水俣病はまだ終わっていない!!の言葉にハッとしました。(福岡東支部)



現在の私たちの生活にも関わっていることにとても驚きました。(久留米支部)

支部で見学に行きました

中遠支部 支部常任委員 清原 孝子

不知火海は住民にとって命の海です。魚介類が豊富で住民は漁業で暮らしていました。その海にチッソが36年間、工場から有害物質メチル水銀を排出し続けました。百間排水溝付近には4mのヘドロが堆積していたそうです。

6年前の熊本に続き、水俣・福岡展を見学しました。パネル資料や写真、ビデオをみて、被害の様子がわかり心が痛みました。

チッソと国の心ない対応やまわりの人からの言われのない差別を受け、漁民たちは自分たちの生活を取り戻したい、海の回復を願い訴訟しました。何十年も闘いチッソは謝罪し、補償金も一部出しましたが、今も裁判は終わっていません。会場に小学生や高校生が見学に来ていました。展示物を見て何かを感じてくれたはず！将来大人になって救うべきは何なのか、正しい見極めのできる人に成長してほしいと思いました。

折尾若松支部 支部理事長 廣幡 晶子

支部の活動組合員で、水俣・福岡展2023に行きました。写真展示が数多くあり、水俣病患者の表情を捉えた写真や笑顔の家族写真などがありました。展示の説明を受けた参加者からは「水俣病は学校の授業でしか習ったことがなく、こんな現実だったとは知らなかった。詳しく知ることができてよかった」、「悲しくて見ていることがつらいくらいだった」などの感想が出ました。

その後の意見交換の中で、水俣病の加害者は企業だけでなく、経済成長や便利さを求めた人びとも加害者なのではないか、という話になりました。

今の社会においても水俣と同じようなことが無くなっていないと思います。今回の学習が様々な社会問題を考えるきっかけになりました。

水俣・福岡展が10年ぶりに開催されました。

全国では熊本開催が最後で6年ぶりです。久しぶりの開催で、ボランティアにも力が入りました。水俣から受けた衝撃は言うまでもありません。ホールで開催される講演会などの企画や展示にも沢山の方に足を運んでいただきました。特に外国人旅行者が多くみられました。

水俣を忘れないためにも活動を続けていきます。

水俣病とは

日本の四大公害病（水俣病・新潟水俣病・イタイイタイ病・四日市ぜんそく）のひとつで、熊本県水俣市のチッソ(株)という化学メーカーの工場排水に含まれていたメチル水銀の経口中毒による中枢神経疾患です。水俣湾の魚介類が汚染され、知らずに食べた人びとが中枢神経を侵され、亡くなっていきました。現在推定20万人という多くの被害者が慢性症状に苦しみ、未だに解決していません。

水俣フォーラム

認定NPO法人。1996年より膨大な文献や映像、実物の資料によって構成された「水俣展」（熊本で開催の場合は「水俣病展」）を全国各地で、開催地の団体と共に開催している。



13,602人の参加体験が成果

—— 水俣・福岡展2023を開催して

今回の全参加者は13,602人を数えました。目標の20,000人には遠く至らなかったものの、全26回の水俣展中、初開催の1996年東京展30,083人に次ぐ参加者を得て、24年ぶりに沖縄展の13,081人を超えたのは、大きなことでした。残った直接収支の赤字380万円も、補填寄付のお願いに応じてくれた350人を超す方のお陰で埋めることができました。もともと水俣フォーラムにとっての成果は収益ではありません。参加してくれた方々の感想やボランティアとして体験してもらったことが、何よりの成果と考えるのは水俣病を繰り返さないための活動であるからです。現役の危険物質でもある水俣病の原因物質メチル水銀から最も守られるべき“生む性”の方々を主なメンバーとするグリーンコープふくおかの発案による開催であったことも後々まで銘記すべきことです。ありがとうございました。



水俣フォーラム理事長 実川 悠太



博多駅前でも「水俣・福岡展2023」をアピールしました。こちらのポスターや声掛けて、足を運んだ方もいました。



命は美しい

水俣・福岡展 2023 報告

10月7日(土)〜11月14日(火) (福岡アジア美術館) 主催 水俣フォーラム

※写真は特別に許可を得て撮影しています。

これからもいのちを一番に考えていきたい

グリーンコープ生協ふくおか理事長 坂本 寛子

水俣・福岡展2020はコロナの影響を受けて断念した過去があります。2023年度、3年越しに福岡の地で「水俣・福岡展」が開催されました。理事たちも入れ替わり、改めて水俣展を開催する意義を知ることから始め、水俣の地を訪れ今の水俣の様子を見て、患者さんや支援者から直接お話を聞きました。自分の言葉で来場者に伝えたい、水俣・福岡展に関わりたいたと感じた多くの組合員が積極的にボランティアとして携わることができました。

グリーンコープは、水俣病などの食品公害から家族や子どもたちを守りたい、安心安全な食べものを家族に食べさせたいと願うお母さんたちが作った生協です。これからもいのちを一番に考えていきたいと思いました。



子育ても!!

家計の見直しも!!

仲間と一緒に楽しもう!

グリーンコープには「子育てサークル」と、家計簿のつけ方・家計管理を学ぶ「らくらく家計簿クラブ」などの自主サークルが各支部にあります。

サークルは自主運営なので、基本的なルールをもとに、メンバーで活動しやすい方法を考え、進めています。

みなさんも4月の出会いの季節に新しいこと始めませんか?



子育てサークル

福岡西支部

子育てサークル 元氣クラブ 報告

福岡西支部では毎年20人前後が集まるサークルが立ち上がります。住んでいる場所や年齢は違っても子育てをしているという共通点があるので、初回から会話も弾んでいます。時には支部理事会メンバーから商品や地域委員会のアピールをすることも!グリーンコープを知っていただく機会にもつながっています。



福岡西支部 前支部理事長
西本 梓



子育てサークルでは、ママたちがやりたい企画を主体的に決めていくので、子どもたちに喜んでもらえるようにメンバーで企画を考えるのですが、活動中に子どもたちの楽しそうな雰囲気を見られると達成感でいっぱいになります。講師をお呼びして子育てに関するお話を聞いたり、子どもたちと一緒に工作をしたり、人形劇を観てとても充実した時間を過ごしました。子どもの年齢が近いので、子育ての悩みを話し合う息抜きの場にもなっています。

サークルリーダー 栗山 春花



▲福岡西支部との共催で母乳育児コンサルタントの平田喜代美先生をお呼びして託児付きの講演会を行いました。

子育てサークルの仲間募集!

子育てに悩んでいるお母さんはいませんか? グリーンコープではそのようなお母さんたちのレスパイト(息抜き)の場、情報交換の場、子どもたちが健やかに育っていける場が必要であると考え「子育てサークル」を立ち上げ、活動しています。

- 〈対象〉グリーンコープの組合員の親子(幼稚園に行く前の0才~3才くらいのお子さん)
- 〈会費〉無料(活動費には助成があります)
- 〈内容〉・月に1~2回集まり、親子で遊び、季節の行事・学習会・料理会など、年度始めに、みんなで希望を出し合って楽しい企画を作ります。
- ・サークルの運営はワーカーズがサポートします。

※子育てサークル開催支部には、案内チラシが配布されます。配布チラシでお申込みください。



お金の悩みを解決!



らくらく家計簿クラブ&シニア家計簿クラブ

サークル員大募集!!

5月に募集チラシを配布予定です。

家計簿が続かない、お金が貯まらない、教育費が不安、老後が心配……などお金に不安がある方、家計簿をつけて家計管理をしたい方におすすめ! 税金や年金、保険、教育費、相続、節約術、やりくり術など、仲間と一緒に学びませんか?



家計簿クラブはこんなところ……

- ・家計簿を見せ合うことやチェックはありません。
- ・サークル内で集まる日時、場所、頻度(例:月に1回)を決めます。
- ・年3~4回、ファイナンシャルプランナーによるお金の勉強会を実施(託児OK)。
- ・開催方法は対面かオンラインです。
- ・サークル運営は、FP円縁(くらしの中のお金にまつわる制度や情報をお届けするワーカーズ)がサポートします。



らくらく家計簿クラブ

- ・子育て世代が対象。
- ・活動期間は最長3年間。



これからの人生に、どれだけのお金がかかるかわかりました。



月々の収支を把握することで、我が家の弱点や問題点に気付きました。

シニア家計簿クラブ

- ・セカンドライフや老後について考えている方や子育てが落ち着いた方が対象。
- ・活動期間は1年間。



老後の不安がいくらか解消できました。



年金生活の必要な出費、大きな出費を知ることができました。

お年玉クイズ

おめでとうございます!
当選者発表



正解・・・12匹でした
1面...2匹 2面...1匹 3面...1匹 4面...0匹
5面...2匹 6面...2匹 7面...3匹 8面...1匹
応募総数 1,175名 正解者数 279名

以下35名に1000円分のグリーン券をお届けします

- | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---------|--------|----------|----------|-----------|---------|-----------|----------|-----------|----------|----------|-----------|
| 小倉北久保理絵山下由紀子 | 小倉南野中理美 | 小倉西奥直美 | 小倉八幡中林直美 | 小倉折尾北原裕美 | 小倉筑豊枝村みちえ | 小倉筑豊林由美 | 小倉筑豊村田五十鈴 | 小倉筑豊小林純子 | 小倉筑豊高森みどり | 小倉筑豊山口隆代 | 小倉筑豊海野尚子 | 小倉筑豊馬市来佳子 |
| 葉華 | 友華 | 富敬子 | 和恵悦子 | 佳世子 | 栄和恵 | 千加子 | 聖子 | 孝子 | 裕子 | 愛陽子 | 敦子 | 幸裕 |
| 葉華 | 友華 | 富敬子 | 和恵悦子 | 佳世子 | 栄和恵 | 千加子 | 聖子 | 孝子 | 裕子 | 愛陽子 | 敦子 | 幸裕 |



広報委員会にて厳正に抽選しました。

広報委員の

おうちごはん 我が家のリゾット

学習会を受けて「原木乾しいたけ」がマイブームです。2年間森林で育てられ乾燥したもので、強い風味があります。戻し汁をたっぷり使ったリゾットが気に入っています。材料はシンプルですが、旨味たっぷりです。乾しいたけは夫の好物、好きなものを食べてる時の満足な顔。おいしいものって幸せの種。

- 【材料】**
- 無洗米 1合
 - 乾しいたけ(戻して粗みじん切り)..... 2~3枚
 - 戻し汁 300ml
 - バラバラベーコン(短冊カット)..... 50g
 - 玉ねぎ(みじん切り)..... 1/2個
 - ホワイトソフトマーガリン 20g
 - チキンコンソメ 適量
 - パセリ(みじん切り) 適量
 - 白ワイン(又は酒) 大2
 - 粉チーズ 15g
 - 海水塩なごさ 適量
 - こしょう 適量

- 【作り方】**
- 鍋にマーガリンを入れて、米を炒め、玉ねぎ、しいたけ、ベーコンを加えて炒める。白ワインを入れ、しいたけの戻し汁と水にチキンコンソメを溶かし、合わせて200mlほど加えて煮る。水分が少なくなってきたら、戻し汁を足しながら煮る。
 - お米の芯が少し残るくらい(15分程度)になったら火を止め、粉チーズを入れて、塩、こしょうで味を調える。盛り付けて、パセリを散らす。

小倉南支部 平野 信子

さざ波

この春から長女が高1、長男が中1、次男・三男が小6となります。この3月で、4人の子どもの成長と共にあった7年間のグリーンコープの「活動」を卒業し、人生の新たなステージへ。活動から学んだことは数知れず幅広く...食べ物のことから環境、地域福祉のことまで。子どもたちにもずっと伝えて続けていきたいことばかりです。

さらに、グリーンコープでの「活動」を通してかけがえない仲間に出会えました。仲間と学び楽しんでるうちに、自分の中にこれからの在りたいとい



う「ブレない価値観」と「広い視野」。「本物を見抜く目」が生まれました。活動を共にしたメンバーには、心の底からめいっばいの「ありがとう!!!」を伝えたいです。グリーンコープの「活動」、楽しくてとってもおすすめです。組合員なら誰でも参加できます。参加がまだのみなさんは、ぜひお住いの地域委員会へ足を運んでみてくださいね!

23年度
宗像支部理事長 田川 るみ

私のとっておき♡

ペンネーム：福祉の神様

私のお気に入りには産直若鶏を使ったコラーゲンスープです。内容量も200g入っていて、コラーゲン2000mgと鶏・野菜・ハーブの旨味がたっぷりの優しい味のスープです。私は冷え性なので、体をじんわり温めてくれます。翌朝はプリプリ美肌を実感しています!

今回はコレ!

月に一度発行されるGreenぶらさず4月号(商品カタログ)に掲載されます。

産直 若鶏を使ったコラーゲンスープ
200g
317円(税込342.96円)

広報委員より

湯せんしてそのままマグカップに入れて飲んでるよ!簡単なので一度お試しあれ♡

お詫びと訂正

3月号6面「2023年度秋の組合員のつどい報告」にて誤りがございました。お詫びして訂正いたします。
誤：小倉南・東地域 ⇒ 正：小倉南・中央地域

生活のいろいろな場面で...役にたちます

お金の問題で困ったとき 生活再生相談室 月~土 9:30~18:00 お電話で予約を。	北九州	福岡
	093-871-8824	092-482-7788
些細なことでも困ったら ふくし情報でんわ 月~金 10:00~16:00 (祝日は休み)	北九州 9:00~16:00(祝日開設)	筑紫
	093-202-3039	092-593-5370
社会福祉法人 グリーンコープ ファイバーリサイクルセンター	福岡	筑後
	092-731-1455	0942-21-5406
てるてるコーナー 月~金 9:30~16:30	092-623-0294 電話などのお問い合わせ 月~金 9:00~17:00 センター内ショップ営業時間 月~金 11:00~17:00	
	商品についてのお問い合わせはこちらに。 ☎ 0120-14-0586 ※祝日はお休みです。	

あなたの集まりを 組合員(自主)サークルとして 申請しませんか

24年度 上期

【対象サークル】
① 環境問題サークル
② 福祉活動(ボランティア)サークル
③ 平和活動サークル

【グリーンコープとの基本的な約束】
① メンバーは7人以上。代表とメンバーの8割以上がグリーンコープ生協ふくおかの利用組合員であること
② 月1回以上、定期的な会合を開催し、グリーンコープへの活動報告書を年2回以上提出いただくこと
③ グリーンコープの活動を理解していること

【助成限度額】 年間3万円
【申請方法など】 各支部にお問い合わせください。めめ切りは4月末日です。

組合員(自主)サークルって?

- 「組合員(自主)サークル」とは、組合員が自分たちの関心をもつ活動を自主的・主体的に進めることを促し、その活動をグリーンコープが応援する仕組みです。
- 1サークルに年額3万円を限度としてサークルの会合のための会場費やニュース発行費用などに助成を行います。
- 募集は4月と10月の年2回、GREEN WAVEで行います。活動期間はそれぞれ募集期間から1年です。活動報告書はそれぞれ翌年の3月、9月に提出していただきます。

投稿募集中!

お便りです! レシピ、川柳、家族(ペット)自慢など...何でも結構です。

●私のとっておき♡は、大好きな商品と一緒に写っている人を掲載するコーナーです。コメントを添えてお届けください。

▼応募方法
宛先を切り取り、封筒などに貼り、住所・氏名・ペンネーム・電話番号を明記して注文書と一緒にお願いします。Eメール、ハガキ、封書、FAXでの応募もお待ちしております!

▼注意事項
※原稿及び写真は返却しません。
※お寄せいただいた原稿は編集部で一部修正、加筆する場合がありますのでご了承ください。
※個人情報は商品発送時以外使用しません。
※ペンネームがない場合、本名で掲載させていただきます。

掲載された方には*500グリーン券を差し上げます!!
※共同購入、お店、キープ&ショップで使用できる500円の商品利用券

▼アドレス
info-gwave@greencoop-fukuoka.page

▼宛先(点線を切り取って貼ってください)

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前1-5-1 博多大博通ビルディング3F
グリーンコープ生協ふくおか
「グリーン・ウェーブ」編集部 福田(組合員事務局)宛
TEL092-482-7765 FAX092-482-7780

広報委員の
ホッとひとこと

この春から娘は中学生、息子は高学年。先日久しぶりに子どもたちが託児でお世話になった子育てサポートワーカーさんとお話する機会があった。年月が経っても覚えてくたさていることが嬉しかった。親子共に、周りの皆さんに育ててもらっていることに感謝し、新しい年度も頑張ります!

久留米支部
うもろん

助けあい支えあいの
地域づくりをめざして!

夢がカタチになる100円

福祉活動組合員基金助成報告会

《2023年度》



私たち組合員が毎月出し合っている福祉活動組合員基金(100円基金)が、どのように地域福祉に活かされているかを知る助成報告会を、地域基金運用委員会で開催しました。2023年度に出会った助成団体の活動報告と交流を通じて、地域福祉の広がりや心温まる活動を共有し、私たちの100円の大切さを実感しました。今回、助成報告会の様子についてお知らせします。助成金は、グリーンコープの福祉活動や地域で福祉の活動をされている団体で有意義に活用されます。

<役職名は開催当時のものです>

北九州地域

1月22日(月)
〈ウェルとばた〉

福祉活動組合員基金(100円基金) みんなの100円ありがとう報告会

17の助成団体、100人を超す参加があり、盛況な報告会となりました。不登校、子ども食堂、子育て、介護予防、障がい者アート、高次脳機能障がい、化学物質過敏症など多岐にわたり豊かな活動がおこなわれていることを知りました。交流の時間には、組合員が助成団体を囲み、さまざまな質問に、丁寧にお応えいただき、温かい時間となりました。熱心にメモを取る方、連絡先を交換する方など、必要な情報交換が直接できるのもこの報告会の良さだと感じました。

(小倉南支部 広報委員 平野 信子)



みなさんができるみなさんなの福祉活動を続けて下さい♥



元気くんから、助成団体と組合員へエールが送られました

中部地域

1月23日(火)
〈宗像ユリックス〉

助成団体からの報告&交流会 知っていますか?あなたの100円の行方

4年ぶりにリアル開催された報告&交流会には、2023年度中部で面談した20団体のうち17団体が参加されました。福祉委員からの福祉活動組合員基金についての歌と手話の披露でスタートした後は、各団体から日々の熱心な活動の様子を報告していただきました。交流会では団体と参加者の質疑応答や意見交換が活発におこなわれ、時間が足りないくらい盛り上がり、大変有意義な時間となりました。沢山の参加者より「楽しかった」「100円基金の意義が理解できた」「来てよかった」との感想が寄せられました。

(中部地域理事長 中村 晶子)



団体より直接お話を伺います

100円基金の歌と手話で基金の良さをアピール

福岡地域

1月22日(月)
〈オンライン〉

みなさん100円をありがとう ~助成団体からの報告&交流会~

福岡地域は1月22日月曜日、本部会議室をメイン会場としてオンライン形式で開催しました。当日報告された団体の方からは、交通費など発生する経費のことで悩んでいてグリーンコープに助成申請した、おかげで活動が整ってきている、など基金の具体的な使途と共にそれぞれの豊かな活動の様子を報告していただきました。団体の方向士多くの刺激を受けた、基金の活用の仕方がとても素晴らしい、など感想もいただきました。一団体の持ち時間が短いなど、課題もありますが、私たちが拠出している100円が貴重な取り組みに活かされていることを知るととても良い場となりました。

(福岡地域理事長 大坪 亜野子)



南地域

1月29日(月)
〈オンライン〉

私たちが拠出している100円の使い道を知ろう! ~100円基金オンライン助成報告会&交流会~

2023年度助成した18団体のうち15団体から、活動の様子と助成金の使途を報告いただきました。参加者から「毎月の100円がこのような形で活かされていることを嬉しく思う」「自分たちが住む地域で熱い思いで活動をしている人がいることに感動した」などの感想が出ました。質疑応答では団体同士のやりとりもあり、横のつながりが生まれていました。福祉委員会作成の動画もグリーンコープの福祉や100円基金がわかりやすかったと好評でした。

(南地域理事長 永井 洋子)

